

郡山市には、駅北核、駅南核、大町核、中町核の四つの核の構想がある。この四核構想を踏まえた中心市街地活性化基本計画が策定され、活性化に向けて様々な整備が進められてきた。今後更なるにぎわいが期待できる。



大町核 都市再生区画整理事業

平成6年以来、空き店舗になっている建物を「大町地区都市再生区画整理事業」により再生しようという発想から始まったが、この建物の土地に関しては民間に委ねて、郡山市としてはその周辺の道路整備を地元の概ねの合意を得て進めているところである。

駅北核 ビッグアイ（第一種市街地再開発事業）

ビッグアイは24階建ての複合ビルで、県立の定時制の高校や市民サービスセンター、プラネタリウム等が入っており、オープン当初から多くの人を訪れている。

今後の取り組み

現在、郡山駅から南側に行きましてフロンティア通り、うすい、中町通りまでの整備は概ね終了している。また、ハード整備だけでなく、大町地区の「大町笑・Show・商[※]」、シンボルロードや駅前大通りのイベントによりにぎわいの演出を行っている。今後は、駅南地区のケアハウス等を含めた複合ビルの整備や駅前大通りシンボルロード化事業等を行っていく。

※大町笑・Show・商

商店街の個々の商店と一般の市民が参加するフリーマーケットを主体とし、ミニ四駆で子供から大人まで楽しませ、組合員の取り扱う商品を実演したり、商店街にない業種の商品を提供する店を出したり、また人情味豊かで下町情緒あふれる、地域住民に親しまれる有効なイベントの開催を常に心掛けている。

